

# 佛 教 研 究

第 七 卷 第 四 號

大 正 十 五 年 十 二 月 發 行

## 目 次

禁慾主義と人間性

鈴木大拙

九分十二部教の研究(下)

美濃晃順

カントの圖式性に就いて

稻葉秀賢

新批判主義の社會哲學(フォルレンダト)

五十嵐 信譯

東西古匱金石展觀列品中の二三に就きて

石崎 達二

西藏大藏經目錄

櫻 部 文 鏡

大正十五年度佛敎學界總目錄(其三)

學會彙報

大 谷 大 學 佛 教 研 究 會

## 佛教研究會々則

- 第一條 本會ヲ佛教研究會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學内ニ置ク。
- 第二條 本會ハ佛教、哲學、及ビ人文ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ以テ目的トス。
- 第三條 本會ノ會員ハ大谷大學教職員、學生、及ビ本會ノ主旨ニ贊同スルモノヲ以テ組織ス。
- 第四條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ。  
 一、隔月一回講演會ヲ開ク。  
 二、毎年一回大會ヲ開ク。  
 三、年四回雜誌「佛教研究」ヲ發行シ、之ヲ會員ニ頒ツ。  
 四、隨時圖書ヲ出版ス。
- 第五條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク。  
 一、會長 一名  
 二、理事 一名  
 三、評議員 若干名  
 四、委員 若干名
- 第六條 會長ハ本會ヲ代表シ、評議員會ヲ總理ス。
- 第七條 理事ハ會長ヲ補佐ス。
- 第八條 會員ハ雜誌「佛教研究」ノ配布ヲウケ、隔月講演會並ニ大會ニ出席スルコトヲ得。
- 第九條 會員ハ會費トシテ年額金參圓ヲ納ムベキモノトス。
- 第十條 本則ハ評議員會ノ決議ニ依ルニアラザレバ變更スル事ヲ得ズ。

以上

## 佛教研究會職員

會長	村上 專精
理事	沼波 政憲
評議員 (五十音順)	
阿部 現亮	泉 芳瑛
鈴木 弘	名畑 應順
橋川 正	林 五邦
浦川 源吾	日下 無倫
庶務擔當	泉 芳瑛
同	鈴木 弘
編纂擔當	日下 無倫
編纂擔當	林 五邦
會計擔當	名畑 應順
會計擔當	佐々木 秀英
編纂委員	稻葉 秀賢
同	高西 賢正
同	武生 讓
同	日暮 京雄

# 編輯後記

□ 遅れ勝ちに發行されて行く本誌を遺憾に思ひ、第四號は本年中に讀者諸氏にお手渡しせねばと編輯輪を轉じ、兎も角、こゝまでに漕ぎつけました。

□ 前號の表題に於ける誤字、脱字は印刷所の手落もありましたが、偏へに編輯委員の不都合でした、執筆者諸氏に此處にお詫び申し、爾今以後印刷の整備を期します。

□ 庶務擔當に鈴木弘氏が今度、新に加はるることになりました。それは、大谷大學には、多くの學會が設けられ、各自特徴を發揮し發展して居りますが、其等の有機的なる連絡なく、全てに於て勢力の亂費となつて居るのを遺憾として、その學會機關の根幹として「佛教研究會」が動く爲に、此處に庶務として入つていたゞくことに決つた次第です。各自、將來の發展に努力いたしませう。

□ 次に、編輯委員として、余等四名、十六年度の第三號までつゞけることに決定しました。その後、新に研究科生より指定されることゝなるでせう。編輯に就ての苦言を賜らば幸と存じます。

□ 最後に、新春を迎ふるに當り、讀者諸氏の健康を祝して筆を擱きます。(日暮)

## 佛教研究

年四回 七月發行

會費年額金參圓

一部賣代金ハ隨宜申シ受ク

## 廣告料

一頁 金拾五圓、半頁 金拾圓

## 佛教研究第七卷第四號

大正十五年十二月二十日印刷  
大正十五年十二月廿五日發行

不 許 複 製  
禁 轉 載

編輯兼 佛 教 研 究 會  
發行者

右代表者 沼 波 政 憲

印刷者 藤 澤 淨 圓  
京都市壬生川通五條下ル

印刷所 大谷大學佛教研究會  
京都市烏丸通今出川上ル西入

出版部

## 發行所

京都市烏丸頭大谷大學内  
痛替穴阪四九七七番

## 佛教研究會